

FFGディスクロージャー誌2019「統合報告書」の訂正

2019年7月に発行しました、FFGディスクロージャー誌2019「統合報告書」の記載に一部誤りがございましたので、お詫び申し上げますとともに、下記の通り訂正いたします。

記

(訂正箇所は赤枠または下線を付して表示しております)

・29ページ 金融仲介機能の発揮「事業性評価の取り組み」

(訂正前)

事業性評価の取り組み

当社グループは、ブランドスローガン「あなたのいちばんに。」を念頭に積極的な対話を通じて、さまざまなライフステージにある取引先企業の事業内容や成長可能性を適切

に評価し課題・ニーズを的確に把握するとともに、その課題等を共有し、最適なソリューションを提供することでお客さまの企業価値向上に努めています。



■ 事業性評価先数およびその融資残高

	福岡銀行		熊本銀行		親和銀行		十八銀行	
	2018年3月末	2019年3月末	2018年3月末	2019年3月末	2018年3月末	2019年3月末	2018年3月末	2019年3月末
事業性評価先 (全与信先に占める割合)	2,992先(8%) <2,713グループ>	3,684先(9%) <3,342グループ>	752先(6%) <667グループ>	885先(7%) <797グループ>	1,213先(10%) <1,113グループ>	1,580先(13%) <1,464グループ>	461先(4%) <461グループ>	407先(3%) <403グループ>
事業性評価先の融資残高 (全与信先に占める割合)	12,481億円 (17%)	14,126億円 (18%)	1,974億円 (27%)	2,059億円 (27%)	2,526億円 (23%)	2,655億円 (20%)	704億円 (8%)	749億円 (9%)

・福岡銀行、熊本銀行、親和銀行においては、取引先企業の事業内容等を分析し資金ニーズ等に対応していますが、ここに記載する事業性評価先とは、とりわけ、取引先企業の強み・弱み、潮流、業界動向等を取引先企業と共に検証し、経営課題の解決に資する融資をはじめ、経営改善、再生支援、M&A、事業承継等の最適なソリューションを提供した先を限定して累計で計上しています。今後、企業分析ツールの活用等新たな取り組みを行い、取引先企業に対する理解度の向上や潜在的ニーズの発掘に、より一層取り組んでいきます。

・十八銀行においては、取引先企業の事業内容や成長可能性を適切に評価するため、内部・外部環境分析により課題やニーズに対するサポートを年度毎に実施した先を計上しています。

(訂正後)

■ 事業性評価先数およびその融資残高

	福岡銀行		熊本銀行		親和銀行		十八銀行	
	2018年3月末	2019年3月末	2018年3月末	2019年3月末	2018年3月末	2019年3月末	2018年3月末	2019年3月末
事業性評価先 (全与信先に占める割合)	2,992先(8%) <2,713グループ>	3,684先(9%) <3,342グループ>	752先(6%) <667グループ>	<u>887先(7%)</u> <798グループ>	1,213先(10%) <1,113グループ>	1,580先(13%) <1,464グループ>	461先(4%) <461グループ>	407先(3%) <403グループ>
事業性評価先の融資残高 (全与信先に占める割合)	12,481億円 (17%)	14,126億円 (18%)	1,974億円 (23%)	<u>2,067億円</u> (19%)	2,526億円 (23%)	2,655億円 (21%)	704億円 (8%)	749億円 (9%)

ふくおかフィナンシャルグループ

・30ページ 金融仲介機能の発揮に向けた取組み「ライフステージに応じたソリューションの提供」

(訂正前)

ライフステージに応じたソリューションの提供

当社グループは、お客さまの各ステージ(創業期、成長期、安定期、低迷期、再生期)におけるニーズや経営課題を解決し、中長期的な成長を支援する最適なソリューションを提供しています。

【ライフステージ】



(2019年3月末)

		創業期	成長期	安定期	低迷期	再生期
福岡銀行	融資先数	3,700社	1,982社	12,419社	816社	1,395社
	融資残高	4,364億円	5,751億円	35,112億円	1,142億円	1,230億円
熊本銀行	融資先数	1,101社	911社	4,061社	666社	308社
	融資残高	498億円	749億円	2,992億円	202億円	253億円
親和銀行	融資先数	857社	591社	4,973社	307社	509社
	融資残高	459億円	677億円	4,376億円	191億円	341億円
十八銀行	融資先数	846社	723社	7,286社	403社	641社
	融資残高	501億円	790億円	5,882億円	240億円	621億円

(訂正後)

(2019年3月末)

		創業期	成長期	安定期	低迷期	再生期
福岡銀行	融資先数	3,685社	3,156社	17,929社	1,319社	1,632社
	融資残高	3,933億円	5,901億円	33,449億円	1,770億円	1,803億円
熊本銀行	融資先数	1,116社	1,338社	5,472社	421社	308社
	融資残高	486億円	946億円	3,617億円	192億円	251億円
親和銀行	融資先数	855社	821社	6,236社	461社	382社
	融資残高	418億円	766億円	4,647億円	211億円	232億円
十八銀行	融資先数	846社	723社	7,286社	403社	641社
	融資残高	501億円	790億円	5,882億円	240億円	621億円

ふくおかフィナンシャルグループ

・30ページ 金融仲介機能の発揮に向けた取組み「ライフステージに応じたソリューションの提供」

(訂正前)

創業期

当社グループでは、ファンドを活用した安定的な資金供給や、グループ銀行に設置する「事業カウンセラー」と関係団体等とのネットワークの活用、UIJ創業セミナーなど、さまざまな創業・開業支援を積極的に行っています。

創業支援関与件数

(2018年度中)

	創業支援先	創業計画策定支援	創業期取引先への融資	創業期取引先への融資(保証協会)	創業支援機関等の紹介	ベンチャー企業への助成金
福岡銀行	1,880社	352社	775社	639社	98社	16社
熊本銀行	551社	48社	324社	139社	40社	0社
親和銀行	413社	58社	172社	179社	4社	0社
十八銀行	258社	83社	104社	71社	0社	0社

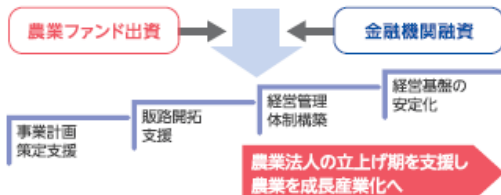
ファンドを活用した創業・開業支援事例

【農業分野の特徴】

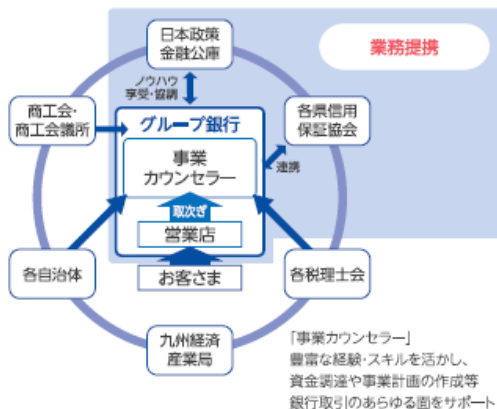
- ・天候リスクが大きい
- ・収益を生むまで(播種～収穫)時間を要する

【A社の状況】

- ・設立2期目の農業法人(異業種から農業参入)
- ・農業所得向上を目的に、加工品製造を計画



事業カウンセラーの設置



(訂正後)

創業支援関与件数

(2018年度中)

	創業支援先	創業計画策定支援	創業期取引先への融資	創業期取引先への融資(保証協会)	創業支援機関等の紹介	ベンチャー企業への助成金
福岡銀行	2,035社	352社	952社	617社	98社	16社
熊本銀行	551社	48社	324社	139社	40社	0社
親和銀行	378社	58社	160社	156社	4社	0社
十八銀行	258社	83社	104社	71社	0社	0社

ふくおかフィナンシャルグループ

・31ページ 金融仲介機能の発揮に向けた取組み「ライフステージに応じたソリューションの提供」

(訂正前)

■ 成長期・安定期

当社グループでは、お客さまの販路開拓支援等のためビジネスマッチングや各種商談会を積極的に行っています。海外進出や海外への販路拡大等については、福岡銀行の

海外駐在員事務所や外部提携機関と連携しサポートしています。また、お客さまの事業規模拡大等の成長支援のため、M&A等のソリューションも提供しています。

■ 販路開拓支援先数

	国内		海外	
	2017年度	2018年度	2017年度	2018年度
福岡銀行	350社	386社	209社	221社
熊本銀行	176社	125社	20社	8社
親和銀行	43社	48社	29社	58社
十八銀行	347社	527社	23社	41社

※十八銀行は成約に関わらず、販路開拓支援を行った先を計上しています。



(訂正後)

■ 販路開拓支援先数

	国内		海外	
	2017年度	2018年度	2017年度	2018年度
福岡銀行	350社	386社	209社	221社
熊本銀行	<u>105社</u>	<u>91社</u>	20社	8社
親和銀行	43社	48社	29社	58社
十八銀行	347社	527社	23社	41社

※十八銀行は成約に関わらず、販路開拓支援を行った先を計上しています。

